



令和2年度予算額（案） 2,977億円
 （前年度予算額 3,159億円）

私立大学等経常費補助の概要

事業内容

私立大学等の運営に必要な経常費補助金を確保し、教育研究の質の向上、地域への貢献及び研究力の強化等に取り組む私立大学等に対する支援を強化する。

一般補助 2,743億円（2,712億円）

（※私立大学等経常費補助に占める一般補助の割合は約92%）

大学等の運営に不可欠な教育研究に係る経常的経費について支援する。アウトカム指標を含む教育の質に係る客観的指標の本格導入等を通じたメリハリある資金配分により、教育の質の向上を促進する。

特別補助 234億円（447億円）

人口減少・少子高齢化の進行や社会経済のグローバル化を背景に、「Society5.0」の実現や地方創生の推進等、我が国が取り組む課題を踏まえ、自らの特色を活かして改革に取り組む大学等を重点的に支援する。

○ **私立大学等改革総合支援事業** 114億円（117億円） ※上記の一般補助及び特別補助の内数

「Society5.0」の実現に向けた特色ある教育研究の推進や、地域社会への貢献、イノベーションを推進する研究の社会実装の推進など、特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する。

○ **大学院等の機能高度化への支援** 126億円（131億円） ※上記の特別補助の内数

「Society5.0」の実現、イノベーション・エコシステムの構築に向けて、大学院生、優秀な若手研究者、子育て世代の研究者の支援等を強化するとともに、高専・短大への支援を実施することにより、大学院等の機能高度化を図る。

※大学院生及び被災学生に関する授業料減免等を行う大学等への支援の措置を含む

<参考>

- 高等教育修学支援新制度の対象者の授業料減免分として、別途1,942億円を措置
- 被災私立大学等復興特別補助 5億円（7億円）〈復興特別会計〉
東日本大震災により被災した福島県内の大学等の安定的教育環境の整備や被災学生の授業料減免等への支援を実施。

※括弧内は令和元年度予算額。

単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

私立大学等改革総合支援事業

令和2年度予算額（案） 114億円
（前年度予算額 117億円）



文部科学省

事業概要

「Society5.0」の実現に向けた特色ある教育研究の推進や、地域社会への貢献、イノベーションを推進する研究の社会実装の推進など、特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する。

基本スキーム（イメージ）

※特別補助交付額：タイプ1, 3, 4は1校当たり1,000万円程度、タイプ2は2,000万円程度を想定
（各選定校数等により変動）
※全タイプを通じ、成果の発信とリカレント教育を考慮

タイプ1 「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」 110校程度

- 「Society5.0」時代に求められる力を養う、文理横断的な教育プログラムの実施、リベラルアーツ教育の推進、各専門分野の特性に応じたAI、数理、データサイエンス等に関する教育の導入・強化等、新たな時代を生きる学生に対する教育機能の強化を促進
- 入学者選抜体制の充実強化、高等学校教育と大学教育の連携強化等、高大接続改革への取組を支援

タイプ3 「地域社会への貢献」 165校程度（20～40グループ含む）

- 地域と連携した教育課程の編成や地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取組を支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた大学改革の推進を支援
（20～40グループ）

タイプ2 「特色ある高度な研究の展開」 50校程度

- 社会的要請の高い課題の解決に向けた研究やイノベーション創出等に寄与する研究や他大学等と連携した研究など、高度な研究を基軸とした特色化・機能強化を促進

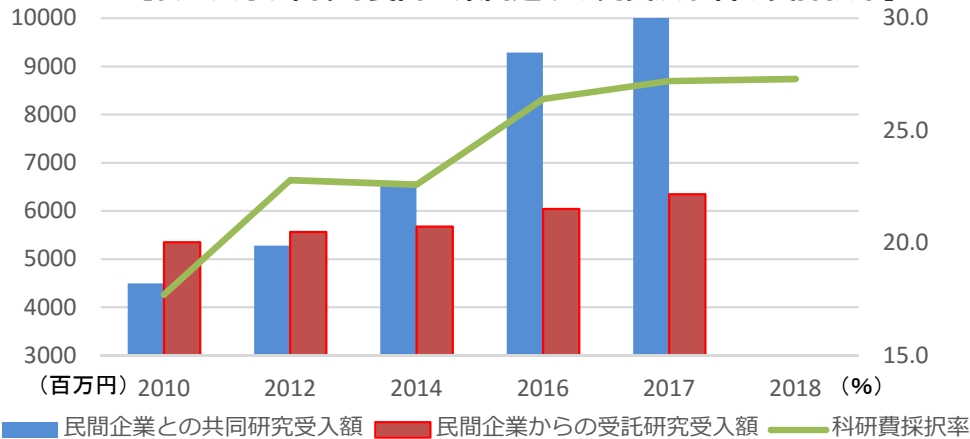
タイプ4 「社会実装の推進」 95校程度

- 産業連携本部の強化や企業との共同研究・受託研究、知的財産・技術の実用化・事業化、産業界と連携した社会実装の推進に向けた取組を支援

背景・現状

- 総合イノベーション戦略では、「Society5.0」の実現に向けて、基礎研究を中心とする研究力の強化が掲げられており、研究「人材」「資金」「環境」改革を大学改革と一体的に実行することが求められている。
- 私立大学においては、近年、民間企業関連の研究費や科研費採択率も上昇傾向にあり、研究関連のランキングも示すように、日本の研究力の向上に大きく寄与しているところ、私立大学の大学院等の機能の高度化への支援を強化することによって、日本の研究力の強化を促進する。

【私立大学に関する民間企業関連の研究費及び科研費採択率】



※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」より
※日本学術振興会「科研費データ」より

【私立大学に関する研究関連の国内ランキングについて】

（研究※）

※研究に関しては、研究助成金、研究関連収入、論文数等により評価

国内順位	大学名
10	日本医科大学
11	慶應義塾大学
12	東京理科大学
14	早稲田大学
32	順天堂大学

（被引用論文※）

※1論文あたりの被引用回数により評価

国内順位	大学名
1	帝京大学
2	藤田医科大学
6	立教大学
9	近畿大学
11	日本医科大学

※THE (Times Higher Education)「世界大学ランキング2019」より

概要

○ 優れた研究者育成のための研究者支援強化

- ・若手研究者の「安定」と「自立」の確保等、持続的な環境整備の促進
- ・女性研究者をはじめ子育て世代の研究者のための環境整備の促進
- ・優秀な大学院生に対する経済的支援

○ 研究環境の強化

- ・研究機能の高度化に資する施設設備の運営支援の充実
- ・企業、公的研究機関、他大学をはじめとする他機関との共同研究等の促進

※短期大学及び高等専門学校等の機能の高度化に資する支援を実施

「Society5.0」の実現、
イノベーション
・エコシステムの構築
に向けた大学院等の
機能高度化